

平成19年度第6回都市環境デザイン委員会議事概要

日時 :平成 20年 2月 28日 (木)15:30から

場所 :市役所 10階第 5A会議室

出席委員 :9名

瀧川委員長、河西副委員長、池田委員、神田委員、斎藤委員、佐伯委員、
渋谷委員、鳥宮委員、橋本委員

説明員 : 2名

みどりの課 (塩田係長、三浦主任補)

事務局 : 5名

横田都市計画課長、中村課長補佐、三井基本計画係長、佐藤主任、松林主任補

議事概要

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議題

(1)協議事項

平成19年度都市景観主要建築物選定物について

・(仮称)帯広の森市民活動センター

資料3により、(仮称)帯広の森市民活動センターの設計概要について説明しました。

委員からの主な意見等は以下のとおりです。

委員長】道路から真っ直ぐ施設に向かって入って行くのではなく、ワンクッション置いた形でこの場所に入っていき、徐々に囲まれて、随分と森の中に入って行ったという印象があった。歩いて来られる方もいると思うが、ワンクッションおいて入ってくるのには何か理由があったか。

説明員】必ずしも幹線道路に面してっていう事ではなく、森の中に入っている森の拠点施設だという事でその辺のイメージを凄く大事にしたかったというのが一つある。これは帯広の森で活動されている団体の意見を伺う中で、単純に真っ直ぐアクセスするのではなく、車でいらっしゃる方については少し迂回をしていただいても、森の中に入って来る。その中に施設があってそこで色々な情報を得てもう1回じゃあ森の中の別の場所に行ってみようかというようなメッセージを施設の配置でもきちんと表してほしいという要望があったので、1回幹線道路から外れて迂回するという形の配置を考えた。南側の幹線道路は非常に交通量が多いと言う事で、直接南側に沿路のアプローチを伸ばして、そこから出入りという事になると交差点も近い部分であり少し交通状況の面で懸念が残る。西側に進入路を設けて少し迂回していただいた方がスムーズな出入りが出来るのではないかと思う。歩行者についても、車道と同じでメインのアクセス道路を設けたい。しかし、もう少し柔軟に各方面に幹線道路から直接施設の方に、最短距離という形になるのとは限らないが、アプローチが出来るような環境づくりは、しっかりやっていきたい。それと、確かにわかりにく

い場所になるかも知れないので、周辺のサインあるいは場所に関する情報提供についてもしっかりやっていきたい。

【委員】この施設は冬季間も使用するのか。

【説明員】冬季間も開館する。

【委員】身障者用の駐車場が2台あるが、建物が遠い。身障者は建物にどういう風にアクセスすればよいのか。また、この施設の目的は森を知ってもらうためということなので、この建物の北側から森に行くという事があると思うが、出入口は南にしかない。

【説明員】当初は南北に抜けるという案も検討はしたのが、中身や平面的な計画で、色々なスペースを犠牲にし得ざるをえないという事になり、北側にあえて設ける必要はあるのか、もう一度、立ち止まって考えた。この程度の施設であれば中のスペースを有効に使おうと言う事で入り口の方は一箇所にした。

身障者用の駐車場は、広場の役割や車両が通る部分を設ける時の動線の複雑さを考えて、一般の車両を同じ部分で身障者用の駐車場を配置した。当然、冬季間の心配はあるので、きちんとした対応をしなければならないと言う事を考えている。

【委員】これは夜間も使用する施設なのか。

【説明員】具体的な開館時間については、検討している所。ただやはり、土日、例えばボランティアで色々な活動されている方々と一緒になって協力していただきたいという思いがある。普段、仕事を当然されていて平日の昼間はもちろん休みの日に集まってもらうにも時間的な制約というのはかなり厳しい。ある程度夜間、仕事終わった後にちょっと集まって話し合うといった形で対応は出来るように想定して、開館時間の方を検討これからしていきたい。

【委員】夜間利用をするとすると周辺の灯りの使い方が重要になると思うが、どのように考えているのか。

【説明員】基本的にはメインのアプローチの周辺から建物まで利用者の方に安全に安心してアクセスしていただけるような照明について設けていきたい。ただ森の中にあるという事で、過剰な照明にするといわゆる光害、動植物に悪影響が出るのではないかと。ここは街から外れており、夜非常に星を綺麗に見ることが出来る場所になっている。そういった暗闇を楽しむ、星空を楽しむという事もこの施設の一つの特徴だと思っているので、せっかく楽しめるメニューというものをなるべく犠牲にしないような、最低限みなさん安心して来ていただける照明について考えていきたい。

【委員】テイストを洗練して華美にならないようにしてほしい。外灯は雰囲気をつくるもので、明かりが強いとか弱いとかという面は調整されると思うが、外灯のデザインは農村的な感じ感じなのですか。

【説明員】具体的な形状はまだ全く白紙の状態なので、意見を参考にさせていただきたい。

【委員】事前に身障者の方が来るのがわかっていると、遊歩道みたいな所を開放して近くに車を止めさせてもらえるという事なのか。歩けないから近くに止めさせてもらおうという事であって、30m位距離があるというのは、足が遠のいてしまうような気もしなくはない。普段は通れなくてもいいので、そういうときだけは中に入っていけるようなスペースがあればよいと思う。

【説明員】駐車場スペースとは直接リンクしてはいるが、ここの通路は色々な物を運ぶ管理用の通路も兼ねている。ハードを100%揃えるというのは難しいため、そう

いった使い方も施設で可能であれば柔軟な対応をしていきたい。

委員 長】特にこういう森の中にある建物は、利用者がある一定の人達に限られてしまうと思うが、どのように考えているのか。その地域の方だけではなく色々な方が行っても使えるような状況になっているのか。

説明 員】現在、森で色々活動している団体の一つの拠り所になってほしいという事でこの施設を考えてはいるが、そういう団体だけでは、森に対する市民のみなさんの関わりの広がり方を期待できない面もある。ぶらっと来て、この施設で情報を得るなり、色々な人と交流するように色々なメニューを提供し環境の方を整えたい。特にこの施設はいわゆる貸し館ではなく、そこに行ったら何かがあるとか何かが出来るとかそういった柔軟な利用の仕方が出来るような施設にしていきたい。

委員 員】目的がよくわからない。なぜここなのか。メニューが後付けだというのが腑に落ちない。何かをやりたくて、館をつくるのではないか。

説明 員】この施設は、帯広の森を使っていただく何かのきっかけを提供出来るような施設、あるいは森で活動する拠り所にしてもらう、あるいは、森を育てていくための必要な作業にはどういう物があるのかスタッフが中心になって考えて現場で運用していく、そういったものを目的として考えてやっている。

場所については、ご承知のとおり植樹祭は終わって、あの1年当たりの植樹の面積、本数そういったもの何千本もということにならない状況になり、今細々と色々な子供たちと一緒に植樹していますが、苗木の供給量も1年当たり、そんなに数が必要ではなくなったというもあって、苗木の供給機能もそろそろ止まっていく。苗圃の新たな役割をどういうふうにか考えるかということで、幸い苗木を保存しているということもあり、たくさんの樹種をこの一箇所で観察できる。そういった利点を活かして、必要な環境整備を加えながら、市民の皆さんが色々な種類の樹木を勉強する。例えば、森についてこの施設とともに色々学んで帰っていくように、いわゆる玄関口に位置づけして、今後使っていく場所にしたい。拠点施設を上手くそことリンクしながら森の導入施設と言うことで配置したということである。

委員 員】どこかに山をつくらないか。その辺ではなかったか。

説明 員】西21条の南6丁目、サラダ館の東正面に造る予定である。

委員 員】先ほどの灯りの件と重複するが、星空を見るなど具体的なメニューとして出たが、星空が綺麗だから、森の中に存在しているから、こういう外観にしたのか。

説明 員】森から目立つ派手な色ではないもの、周辺と同じような質ということでこういう色を使っている。

委員 員】具体的なコンセプトははっきりとわかるように、色やラインとくっきりさせると面白いことをやっているというイメージにつながっていくのではないか。例えば先ほど三角の屋根がレンガ色になっていたが、星空をみるための小屋などほかにもアイテムが増えるのか。

説明 員】この施設を使っていく中で、炭焼きをやるう、倉庫をつくらう、そういった広がりには当然出てくるだろうと思っている。敷地内あるいは周辺、この苗圃の区画の中を上手く活かして、付帯施設そういった倉庫や東屋もうそうだが、順次活動に応じて整備していきたい。そういったものの外観についても似つかわしくない形にするのではなく、森の一部ということで形や色を配慮していきたい。アクセントの使い方は、勉強不足なのでなかなか難しいと思っているところもある

ので、ご指導いただければ大変ありがたい。どうしても無難に地味な色ばかりになってしまう。上手くアクセントを使うことで施設が引立つということもあると思うが、なかなか難しい。

【委員】全体を見ると落ち着いて安定感があるような気がする。しかし、側面からはアクセントがついているようでも、正面から見ると暗いトーンで1色に見える。その場に馴染みながら存在感のあるアクセントの使い方が必要だと思う。

【説明員】参考にさせていただきたい。

「(仮称)景観100選」について

事前に委員から提案のあった名称(資料2)をもとに、「(仮称)景観100選」の正式名称を「キラッと帯広(景観百選)」に決めました。

委員からの主な意見等は以下のとおりです。

【委員】1番の「風景万華鏡」は、その時は一所懸命に考えて出したものだが、長く使われていく名称としては、余り個性的なものは良くないと思う。22番の「帯広100景」だとか、帯広を平仮名にしたりしてもよいが、22番、23番、24番のような一般的なものの方が良いのではないか。

【委員長】全国的に見ても、24番の「景観100選」というものが一番多いのではないかな。わかりやすい。

【委員】22番が一番良いのではないかな。個性的なものに決まるのは構わないが、「風景万華鏡」はちょっと違和感を感じた。

【委員】委員と「風景万華鏡」が良いのではないかなという話をしていた。良いのだけど少し重たい気がする。

【委員】色んな人に聞いてみたが、頭の中にすぐに浮かぶほうが良いということだったのでどうだろうという話をしていた。

【委員長】大人だけがわかるのではなく、子供たちわかるようにしなければ。

【委員】頭に浮かぶものが良いと思う。

【委員長】一番わかりやすいのは、「景観100選」というもの。

【事務局】資料の最後のページに今回の事業と同様の事業の名称を載せているので、参考にしてほしい。

【委員長】誰が見てもわかりやすいものなのか、「風景万華鏡」のようにおしゃれな感じで付けるものなのか方向性から決めていきたい。

【委員】おしゃれなサイドで選んだとしても、サブタイトルに市民が選んだ風景だという言葉があれば、イメージがわくと思う。

【委員長】極端に言うと「帯広景観100選」その後にはちょっとおしゃれなサイドが残っても良いのではないかな。

【委員】難しい言葉から始まって、サブタイトルのようなものが付けばわかりやすいのではないかな。

【委員】入間市では「入間市ふぉとくらぶ(景観百選)」とある。このような感じだろうか。

【委員長】出ているものを2つ、3つ、合体させたものでも結構です。

【事務局】誰もが見て、景観のリストやデータ集であるとわかるようにしていただきたい。他都市がこれだけ「選」というものであると個人的には独自性があった方が良くないかなと思う。

景観といううちの5景の中でも、生業からばんえい競馬まで含まれることが

ら、風景という少し狭い。都市部もあれば農村部もある。絞りにくくなるのかも知れないが。ホームページに載せて全国に発信することを考えると、地域性がわかる言葉が入っていないと、「景観 選」では逆にわかりにくくなるのではないか。

委員 長】幅広くわかりやすく、それでいて地域性がわかるように。風景という風景だけを考えてしまうので、そこを広げると全然違うものも出てくるのではないか。

委員】13番の「帯広」を平仮名にして「おびひろ景観 キラリ」にしてはどうか。カッコをして市民100選という言葉をつける。

事務局】「100選」は漢字のほうが良いのか。

委員】子供にもわかるように数字の方がいいと思う。

委員 長】「キラリ」とか「きらっと」という言葉が多かったので印象が残っていた。

委員】「キラッと 景観100選」はどうか。

事務局】第2案として5番と6番を合体して「キラッと帯広(景観市民100選)」ということか。

委員】「市民」は入れなくて「景観100選」だけで良いのでは。募集は市民だけか。

事務局】選考は市民が行うので市民は必要ではないか

委員】2案だと少し長い気がする。

委員】2案は「100選」を漢数字にする方が良い。

帯広らしいのは、凍て付く寒さとかばん馬とかいうことからすると2案が良いのではないか。

委員 長】それでは2案に決めたい。

委員】字体をもう少し考えたい。

委員 長】字体の方は事務局で考えていただくか、誰か提案があれば。

委員】カッコで良いのか。

事務局】波線を入れたり、間に星などのマークを入れたりする方法もある。

委員 長】デザイナーが必要となりますので、委員さんお願いします。

委員】字体はパソコンに入っているものが良いのか。それとも墨で書いたようなオリジナルのものが良いのか。

事務局】データをいただければ加工出来るのでオリジナルのものでも構わない。ないものを使うほうが少ししゃれている。

委員 長】できれば、パソコンに絶対入っていないようなもので、委員さん考えてほしい。期限はどのくらいでしょうか。

事務局】募集は4月から始めるので、チラシ作成の関係から3月中にはほしい。

委員 長】みんな忙しいから、3月中で良いと思う。

文字のデザインにあったような形で委員さんに任せたい。

(2)報告事項

公園大通景観グレードアップ事業について

事務局から資料3をもとに、平成19年度の公園大通景観グレードアップ事業の取組内容について報告しました。

(3)その他

事務局から次回開催スケジュールについて報告がありました。